

第 54 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 溶接分科会 議事録

1. 日 時:2013 年 2 月 4 日(月) 13 時 20 分～17 時 00 分
2. 場 所:日本機械学会 第3・4会議室
3. 出席者:青山(東大)、樺田(三菱重工)、茂田井(東電)、橋本(発電技検)、鈴木(日溶協)、中村(中電)
代 理:なし
欠 席:幅野(IHI)、原田(東芝)、山下(神鋼)、逢澤(日立)、飯田(東電)、水谷(東工大)
オブザーバー:根岸(関電)
事務局:海野(記)

4. 配付資料

- 54-1 . 第 53 回溶接分科会議事録(案)
- 54-2 . 溶接分科会委員名簿
- 54-3 . 第 62 回火力専門委員会議事録(案)
- 54-4 . 第 63 回規格委員会議事録(案)
- 54-5 . SI 換算ルール火力専門委員会書面投票結果報告他
- 54-6 . ファイル共有システムローカルルール(案)
- 54-7 . 審議レビュー票
- 54-8 . Diffusion Bonding/Diffusion Welding について
- 54-9 . 規格発行スケジュール

5. 議事

(1) 前回議事録確認

[資料 54-1]

前回議事録(案)について確認を行った結果、意見等は特になく、議事録案は承認された。

(2) 分科会委員・役員の承認

[資料 54-2]

新任候補として根岸氏が推薦され、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会への推薦が承認された。また、北村委員の退任が報告された。再任委員は対象なしであることが報告された。

(3) 報告事項

(3-1) 火力専門委員会報告

[資料 54-3]

第 62 回火力専門委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 溶接分科会委員・役員の承認
- ・ 第 53 回溶接分科会報告
- ・ 発電用火力設備規格 2012 年版の出版承認の報告
- ・ 発電用設備規格委員会運営規約・審議要領の改訂について

- ・ ファイル共有システムローカルルール作成について
- ・ ASME 規格値を規格に取り入れる場合の取扱いに関する内規の書面投票開始が承認されたことを報告
- ・ 2013年日本電気技術規格委員会の表彰候補者として火力専門委員会の木村委員を推薦することが承認されたことを報告

(3-2) 規格委員会報告

[資料 54-4]

第 63 回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員会報告
- ・ 火力専門委員会関連の審議事項は無し

(3-3) SI換算ルール火力専門委員会他書面投票結果報告

[資料 54-5]

標題の件、火力専門委員会および原子力専門委員会での書面投票結果を報告した。両委員会とも可決しており、今後発電用設備規格委員会での書面投票を行う予定。

◎ 火力専門委員会書面投票結果

書面投票番号: No. 60

投票議案名: 日本機械学会発電用設備規格 ASME規格値を規格に取り入れる場合の取扱いに関する内規

書面投票期間: 2012年11月26日～2012年12月26日

投票結果: 可決

投票成立: 委員総数の5分の4以上(20 票)の 22 票の投票があり, 投票成立

投票採決: 投票数の3分の2以上(15 票)の 22 票の賛成票があり, 意見付反対票がなかったため, 投票議案は可決された。

<投票内訳>

委員 24 名中	賛成 22 名
	反対 0 名
	保留 0 名
	不投票 2 名

◎ 原子力専門委員会書面投票結果

書面投票番号: No. 299

投票議案名: 日本機械学会発電用設備規格 ASME規格値を規格に取り入れる場合の取扱いに関する内規の提案の承認

書面投票期間: 2012年12月5日～2013年1月7日

投票結果: 可決

投票成立: 委員総数の5分の4以上(19 票)の 22 票の投票があり, 投票成立

投票採決: 投票数の3分の2以上(15 票)の 22 票の賛成票があり, 意見付反対票がなかったため, 投票議案は可決された。

<投票内訳>

委員 24 名中 賛成 22 名
反対 0 名
保留 0 名
不投票 1 名

(3-4) Diffusion Bonding 調査状況報告

[資料 54-8]

構造分科会より検討依頼されている Diffusion Bonding について樺田副主査より調査状況が報告された。本件については、構造分科会で Diffusion Bonding を適用する製品 (Microchannel heat exchanger) について発電用火力設備規格の対象機器であるのかの確認をする必要があるとの意見があった。

(3-5) 溶接士技量に対する UT での認証について

[配布資料なし]

溶接士技量の非破壊検査による認証について、これまで RT のみから、体積検査という形で RT と UT のいずれでも認証が出来るように ASME が改訂された点について、その経緯に関する調査結果が、茂田井幹事より報告された。本件については、

① UT の取り入れについての妥当性の検証

② 1979 年に制定された UT による技量認証に関する Code Case において規定されていた、試験片寸法制限が今回の ASME 改訂で削除されたことについての技術的妥当性について、検討を進める方向を確認した。

① については、ASME Sec.I 等でも RT 検査を体積検査としていることから、構造分科会とともに検討を進める

② については、樺田副主査より各委員に対して調査項目を提示し、各委員にて調査することとした。

(3-6) 規格策定スケジュールについて

[資料 54-9]

今後の規格策定に向け、規格策定スケジュールが茂田井幹事より報告された。レビュー票審議は来年の春までに完了することが目途であることが確認された。

(4) 審議事項

(4-1) ファイル共有システムローカルルールについて

[資料 54-6]

昨年 10 月より運用開始しているファイル共有システムについて火力専門委員会および所属分科会内での共通ローカルルール案が提案され、審議の結果このルール案に沿って運用を行なうことが承認された。なお、本ルールは他の分科会および火力専門委員会でも審議の予定。

(4-2) レビュー票審議

[資料 54-7]

VI 章

アーティクル 1 (橋本委員) (審議対象: T-110~190)

- ・ T-120.2 の NDIS0601 については火技解釈の改正にあわせ改定する。
- ・ T-190 取り入れ要否について再確認

- ・ その他軽微な修正必要

アーティクル6 (中村委員) (審議対象:T-610～693, APPENDIX I, II, III)

- ・ DOCUMENTATION は「文書」に統一(T-990 反映必要)
- ・ SI 換算については換算ルールに従う。図III-630 については再検討
T-693 パフォーマンスデモンストレーションの文書化の削除と T-190 との関連を確認
- ・ 軽微な修正必要

6. 次回開催予定

日 時: 2013 年 5 月 16 日 (木) 13:30～17:00

場 所: 日本機械学会 第 3,4 会議室

以 上